

```
% ファイル名 : font.tex
\documentclass{jsarticle}
\begin{document}
文字の書体の指定方法です。
```

和文のゴシック体：`\verb&\textgt&`コマンドを使います。

`\textgt{ゴシック体}`は見出しなどに使う。

欧文の書体の指定は、

`\verb&\textrm{&}`：ローマン体（標準）、`\textrm{Roman}`

`\verb&\textbf{&}`：太字、`\textbf{Boldface}`

`\verb&\textit{&}`：イタリック体、`\textit{Italic}`

文字の大きさ変更です。コマンドの使い方は、`\verb&{サイズ指定コマンド 文章}&`とします。

サイズ指定のコマンドの例は

`\verb&\tiny& : 5 ポイント` `{\tiny 見本 Sample}`

`\verb&\scriptsize& : 7 ポイント` `{\scriptsize 見本 Sample}`

`\verb&\footnotesize& : 8 ポイント` `{\footnotesize 見本 Sample}`

`\verb&\small& : 9 ポイント` `{\small 見本 Sample}`

`\verb&\normalsize& : 10 ポイント（標準）` `{\normalsize 見本 Sample}`

`\verb&\large& : 12 ポイント` `{\large 見本 Sample}`

`\verb&\Large& : 14.4 ポイン` `{\Large 見本 Sample}`

`\verb&\LARGE& : 17.28 ポイン` `{\LARGE 見本 Sample}`

`\verb&\huge& : 20.74 ポイン` `{\huge 見本 Sample}`

`\verb&\Huge& : 24.88 ポイン {\Huge 見本 Sample}`

`\LaTeX` で`{\Large 大きな}`文字を出す。`\textgt{\Large 大きいゴシック体}`。

小さい文字は`{\footnotesize 小さい文字}`。これは、`{\tiny 一番小さい文字}`

文書全体の文字サイズの指定は、`documentclass` のオプションで指定。

`\end{document}`